

アイ・オー・データの歩みとこれから

株式会社アイ・オー・データ機器

代表取締役会長 細野 昭雄

2024年10月24日(木)

アイ・オーって何の会社？

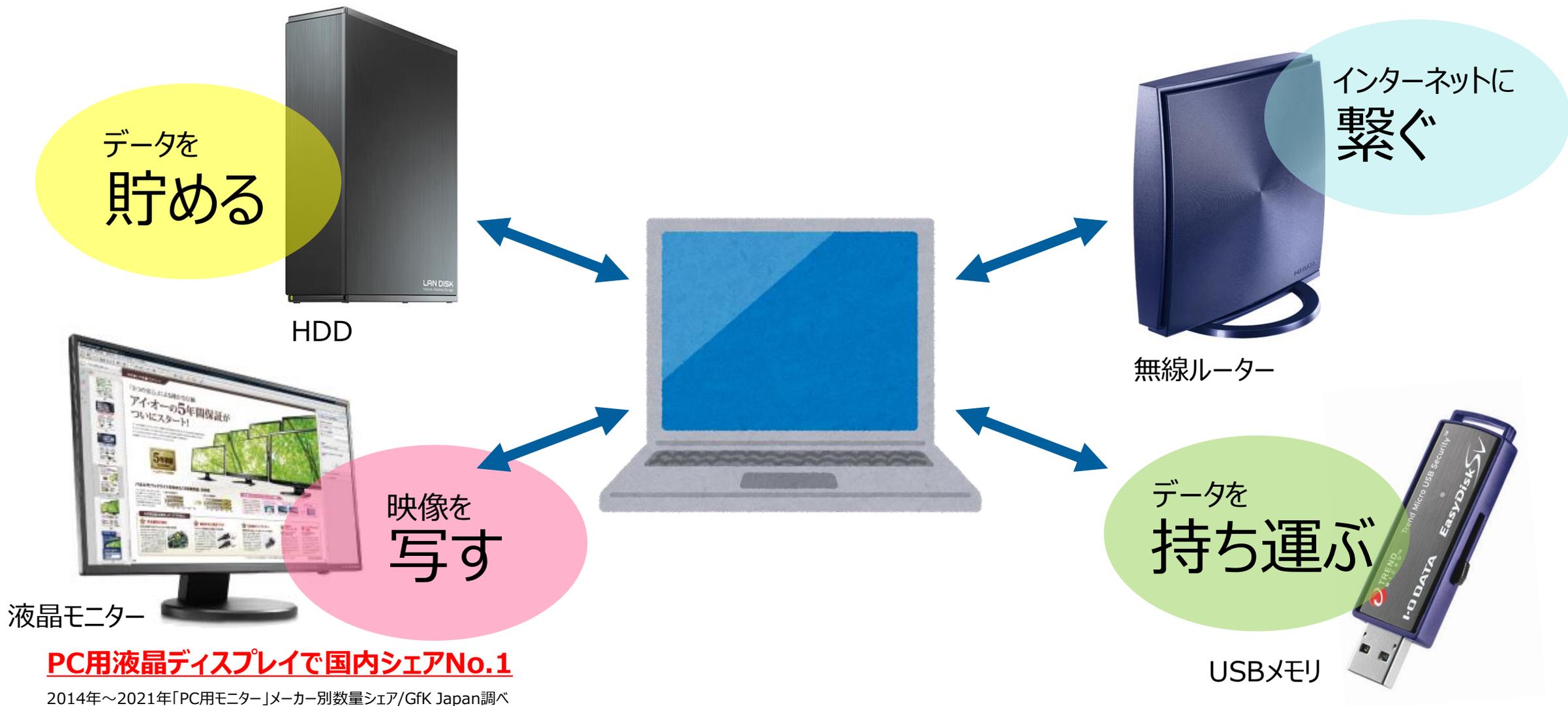
PC・家電・スマートデバイスの
「周辺機器」を製造・販売しています。



ラインナップは合計2000アイテムを超える。
(通電系約1000、アクセサリ類含む)

※一般に、会社名、製品名およびサービス名は各社の商標または登録商標です。

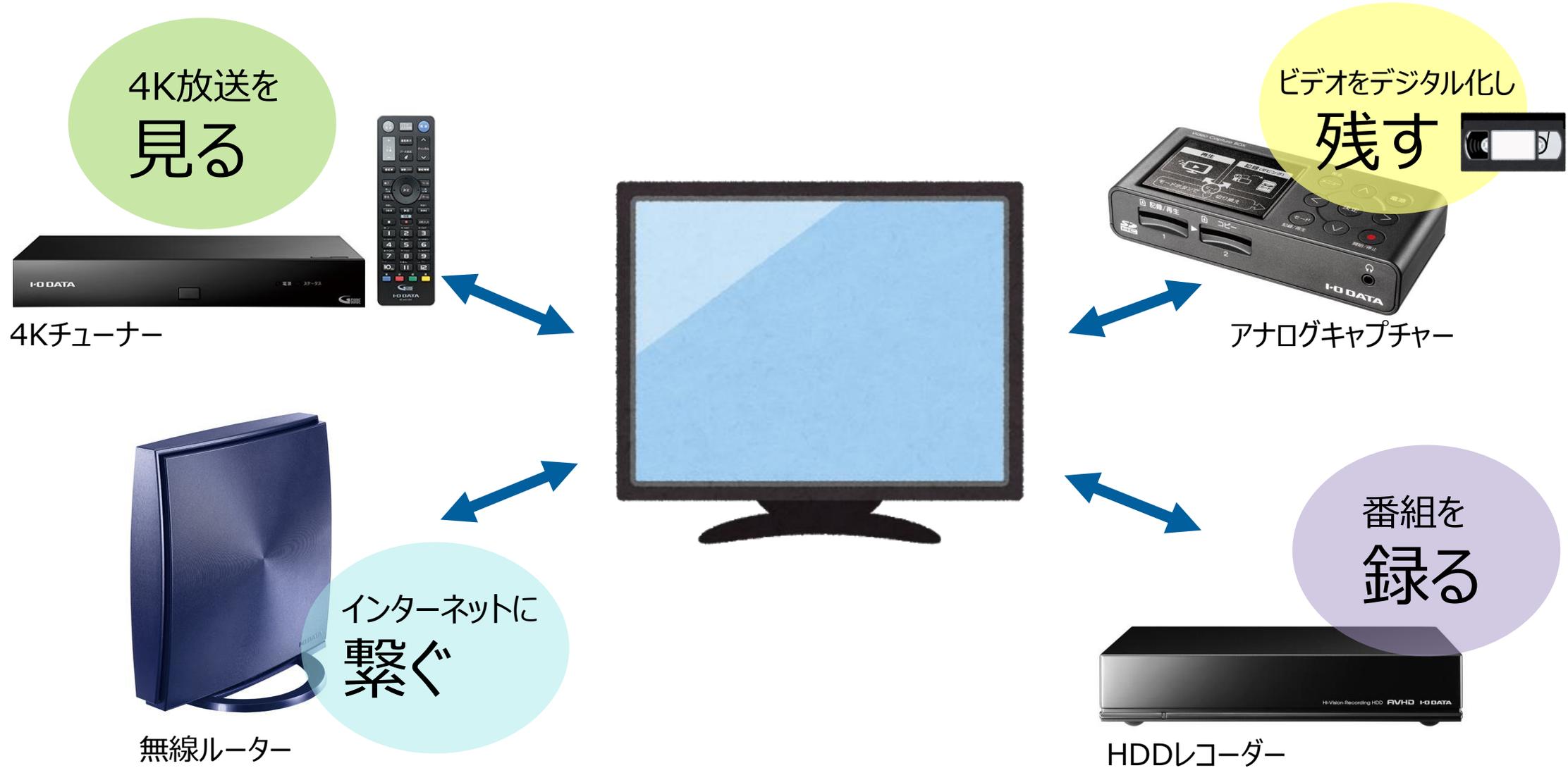
事業内容 PC周辺機器



PC用液晶ディスプレイで国内シェアNo.1

2014年～2021年「PC用モニター」メーカー別数量シェア/GfK Japan調べ

事業内容 デジタル家電周辺機器

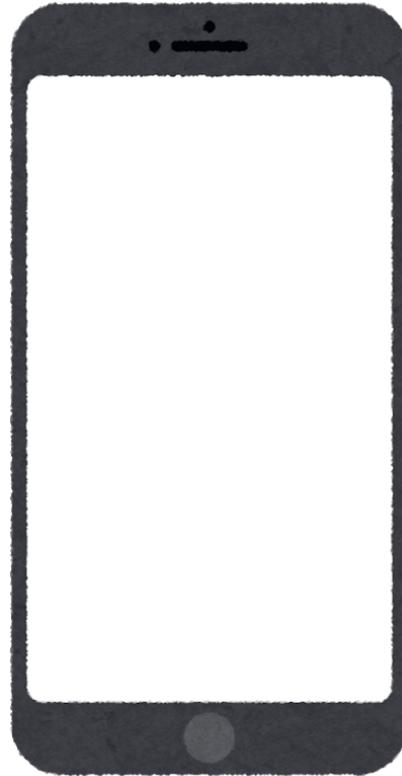


事業内容 スマートフォン周辺機器

CDを
取り込む



CDレコ



IPカメラ

自宅を
見守る

テレビを
見る



テレビチューナー

事業の特徴

PCや家電、スマートフォンを買い替えることなく周辺機器を繋いでいただくことでより長持ち・便利になります。

▶ 技術革新により生じる新旧機器の性能差の解消

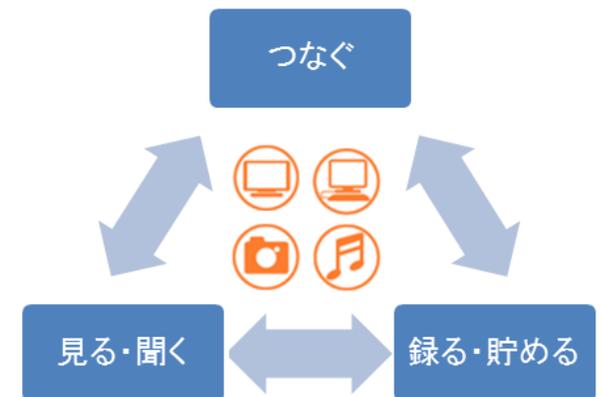
- ・ 旧式デバイスの延命
- ・ 最新モデルでしか楽しめないアプリ・サービスの利用

▶ 利用環境の変化により生じる不便の解消

- ・ 処理時間の短縮
- ・ 活用の高度化、セキュリティ面の強化、管理コストの低減

▶ デバイス、メーカー、技術規格の垣根を越えたコンテンツの利活用

- ・ TV ⇔ PC ⇔ スマホ
- ・ A社ネットワークサービス ⇔ B社



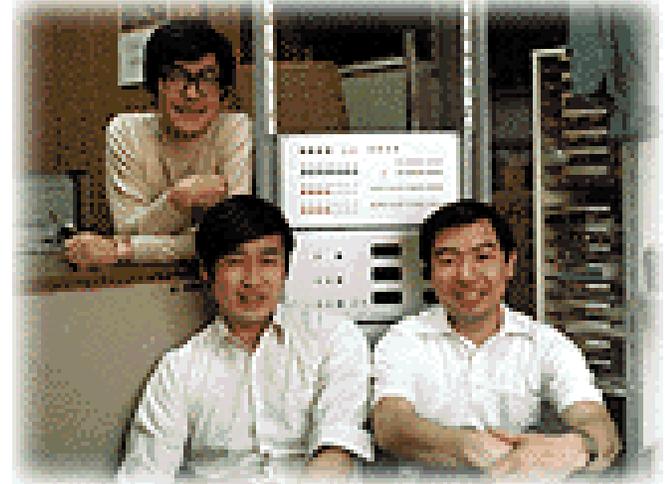
アイ・オー・データ機器と通信、プロバイダーとの関わり

アイ・オー・データ機器 創業

【1976年1月】 自宅のガレージでアイ・オー・データ機器を創業。
社員数4名、資本金100万円でのスタート。



創業当時のアイ・オー・データ機器 作業場



創業当時の細野(左上)

地元北陸では繊維産業が盛んであることに着目。
織物工場向け特注システムの受注を開始した。

創業当時の特注システムと通信

織物の図案編集、紋紙制作、工場端末の監視システムの受託開発

まだ、Ethernetが一般利用されていない時代。
「通信」= コンピューター間での情報のやりとり

ミニコンピューター
(富士通U100)

増設メモリ、インターフェイス →メモリ、周辺機器

織物柄の画像自動読取装置 →周辺機器

紙パンチテープ →ストレージ

カラーディスプレイ、グラフィック編集装置 →液晶、周辺機器

※一般に、会社名、製品名およびサービス名は各社の商標または登録商標です。

PC普及期～BBSの始まり

PCの普及期（1980年～）

各種通信インタフェース関連の製品化

- ・ RS-232C
- ・ GPIB
- ・ セントロニクス
- ・ SCSI



PFD-8シリーズ

《参考》
8インチFDドライブ、増設メモリなどの需要が高かった

BBS(電子掲示板)時代（1987年～）

- ・ 1200bpsのモデムの販売、最終的には9600bpsモデムへと。
- ・ カラオケ楽曲の配信サービスの提供（キャプテンシステムによる料金回収）
- ・ PCで作成したワープロ文章を印刷しないで直接Fax送信ができるファクシミリアダプタの販売



コンピュータFAXアダプタ
「PCF-9600」

デジタル通信へ（1992年）

「ISDN」用の通信ボードの開発販売。（2024年1月にISDNサービス終了
64kbps+64kbps（128kbps）のバルク転送を実現。



インターネット・モバイル時代

インターネット普及期（2000年～）

- ・ ルーター、無線LAN、Wi-Fiルーターを発売
- ・ 簡易型のファイルサーバー（NAS）の開発販売



ネットワーク接続の多様化への取り組み（2009年～）

- ・ 高速電力線通信（2006年）
- ・ モバイルWiMAX発売（2009年）
- ・ M2Mルーター発売（2016年）
- ・ IPoE対応（2019年）
- ・ LTE USB Dongle発売（2024年8月）



前島密賞 受賞

前島密（まえじまひそか）賞は、通信事業の創始者「前島密」の功績を記念し、その精神を伝承発展せしめるため昭和30年（1955年）に設けられ、情報通信及び放送の進歩発展に著しい功績のあった方々に贈呈しています。

公益財団法人通信文化協会ホームページより

前島密賞 受賞

【サイバーセキュリティ対策の強化や地域の情報化の推進など我が国の情報通信の普及・発展に貢献】

IoT時代には家庭内ネットワークのセキュリティ確保が重要であり、業界として全国的に取り組む必要があるとの問題意識から、サイバーセキュリティ対策に積極的に尽力した。また、ICTを通じて地域経済を活性化させ、我が国の経済を拡大させるなど、情報通信事業の普及、発展に関して著しく貢献した。

《Point》

- ①1976年（株）アイ・オー・データ機器を創業し、PC周辺機器の開発販売を通じて経済の一旦をになうべく企業に発展させた
- ②2008年（一社）デジタルライフ推進協会を設立しWiFiなど家庭内ネットワークにおけるセキュリティ対策を施した
- ③1986年（一社）石川県情報システム工業会を創設し情報通信市場の拡大、情報通信技術社の育成に努めた
- ④2005年 ICT研究開発機能連携会議を創設し大学の知的財産活用など産学官連携のプラットフォームを形成
- ⑤2016年（公財）I-ODATA財団を創設し情報通信分野における研究開発支事業を行うなど科学技術の振興に寄与
- ⑥現在（一社）テレコムサービス協会 北陸支部会長として他の支部等とも連携しながらICTの普及啓蒙、啓発につとめている

第69回前島密賞贈呈式 2024年4月11日 KKRホテル東京



前島密賞（奨励賞含む）受賞者

最近の取り組みについて

Ubuntu Pro for Devices



Canonicalとアイ・オー・データの
協議により
Ubuntu搭載デバイスを

**“より広く”
“手軽に使っていただく”**

ための仕組みが実現

2024年4月9日にCanonicalより
全世界での展開が発表され、ライセン
ス契約を締結しました。

Ubuntu Pro for Devices

Ubuntuデバイス



ライセンス販売



他社PC・ゲートウェイなどにライセンスのみ販売

機材の選定・検証を“0”に



インストール時間を“0”に



バージョンアップ作業を“0”に

2022→2027 2027→2032

+5年

最大10年

※Ubuntu 22.04LTSの場合

パートナー様等へのライセンスを販売いたします。

- Ubuntuのプリインストール権
- LTSのリリースから10年間のセキュリティメンテナンスのご提供

令和6年能登半島地震での活動 防災ソリューション

令和6年能登半島地震での活動、防災ソリューション



プラットフォーム
PlatCast

ブラウザベースでアプリ不要
リアルタイム音声配信サービス

領域性「地域・土地」の境界線をまたぎ
地元（奥能登）避難先（金沢他）等の
「地域を越境する」関係性の構築、
地図のないコミュニティ活動へ貢献

地域コミュニティの復旧に向けて
ご利用いただきました。

アラートキュー

AlertQue

ブラウザベースでアプリ不要
防災無線再配信サービス

自治体職員の方：メンテナンス不要
地域住民の方：スマホなどの端末から
QRなどで簡単にご利用可能

スピーカが倒壊しても
防災無線をお聞きいただけます。

防災での 地域課題解決

デジタル音声配信で地域の課題解決

リアルタイムの音声配信サービス



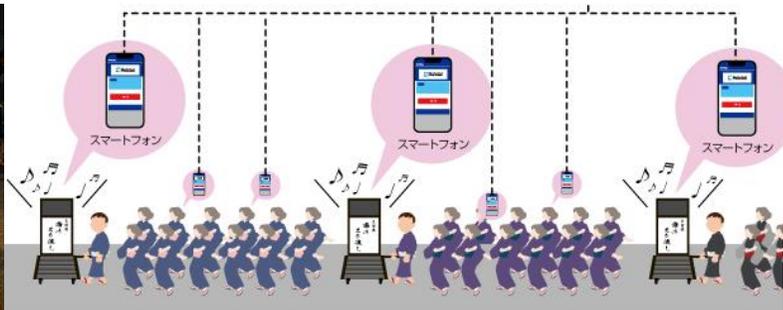
花火大会



離れた場所から聴き取り

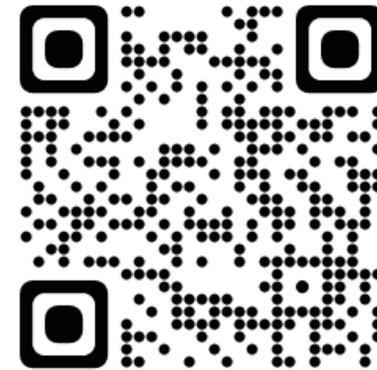


踊り流し



遠隔の場所での音声共有

防災無線再配信サービス
アラートキュー



サンプル配信用
QR



「再生」ボタン
聞取り



進化する明日へ Continue thinking

I-O DATA